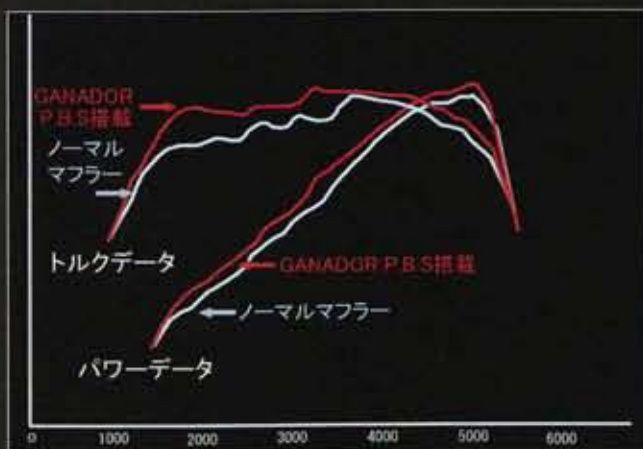




ガナドール【4WD Vertex SUS】マフラー（P.B.S搭載タイプ）。これは右ダブル出し・サークルのポリッシュテール仕様。リアビューのドレスアップとしても効果が高い。



これは右ダブル出し・ブルーテール仕様。ラインナップとしては、右シングルと右ダブル出しの2つのテール本数に、右シングルはサークルのみ、右ダブル出しはサークルとスクエアがある。右シングル・サークル仕様にはポリッシュテールとブルーテールがあり、価格は102,900円。右ダブル出し・サークル仕様のポリッシュテールは、価格が123,900円。ブルーテールは、価格が134,400円。右ダブル出し・スクエア仕様は134,400円となっている。

アフターパーツのマフラーとして絶大な人気を誇るマツショウのガナドールマフラー。もちろん、ランドクルーザー用やFJクルーザー用も数多くラインナップしているが、今回取り上げるのは150プラド用である。

150プラド用として2700cc/4000ccエンジン用に、それぞれガナドールマフラーをラインナップしているのだが、2700ccエンジン搭載車の排気系に仕様変更が行なわれたことで、マフラーも新たに対応させている。

具体的には車体番号がTPJ150-0030257以降のクルマとなり、2012年11月頃からの生産車両が対象となるのだが、これは表立っては発表されたものではなく、トヨタ内部での仕様変更といったものだ。実際には車両側のフランジ形状が変更されており、これまでに発売していたマフラーでは装着することができないというわけだ。そこで、仕様変更後のマフラーを新たに開発。発売の運びとなった。

これまで本誌ではマツショウのマフラー開発の模様をたびたび紹介してきたが、今回フランジ形状に合わせた仕様変更だけではなく、新規マフラー開発と同様にテストもしっかりと行なっている。左にパワー&トルクデータを見やすくした表があるが、パワーは全体を通じて向上。そして注目なのがトルクデータで、日常よく使う2000回転域のトルクが大幅に向上している。アクセルを踏み込んだ時の出足や加速感をより感じることもできるというわけだ。

アフターマフラーに交換するということは、テールエンドのドレスアップということもあるが、エンジンのパワー&トルクアップという性能向上も図ることができ。また、エキゾーストサウンドも魅力である。そしてガナドールマフラーは、独自のP.B.Sシステムによって燃費向上を図ることができる。

今回は仕様変更の150プラド用ガナドールマフラーにスポットを当てたが、他車種もラインナップをしているので、詳しくはホームページをチェックしてみよう。



■マツ、ショウ
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 8-64-2
TEL.048-935-1130 FAX.048-931-2242
http://www.ganador.co.jp/



150プラド「仕様変更後対応マフラー」新登場

マイナーチェンジは正式に自動車メーカーから発表されるが、細かな仕様変更については発表が行なわれない150プラド「CBA-TRJ150W (2.700cc)」は、2012年11月から排気系の小変更が行なわれているとなると、今まで発売していたアフターパーツのマフラーは装着することができない。そこで、マツ、ショウは新たに対応マフラーを開発。今回、発売となったのだ。